

## \*\*\* SEANETコンベンション2007 速報 \*\*\*

昨年大阪に続いて、タイ王国のランパンで開催



J13ZAG 荒川泰蔵

昨年大阪で開催したSEANETコンベンション2006で、故JA3UB三好さんからSEANETのバナーを引き継いだタイのHS1XIMポンワットさんが、HSの皆さんの協力を得て、彼の地元ランパンで、去る11月8日から4日間、SEANETコンベンション2007を開催した。ランパンはタイ北部の歴史を今に残す都市でバンコクの北方約560kmに位置している。多くの参加者はバンコクから空路チェンマイに出て、そこから約90kmを車で引き返した。我々のラジオクラブからはJE3BEQ宮本さんと私JA3AERの2名であった。

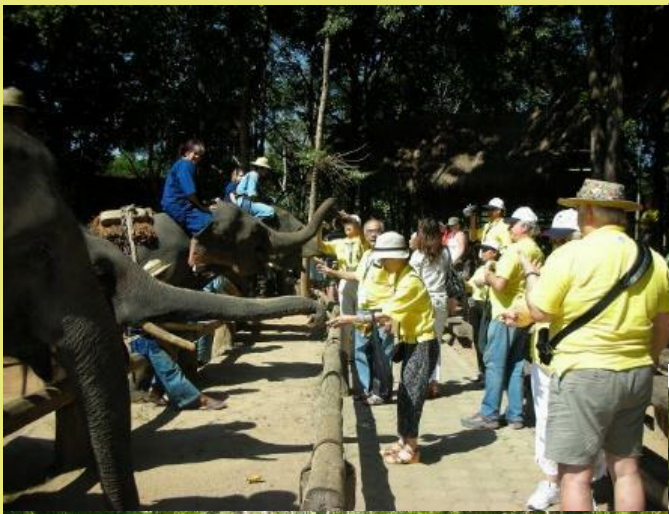
初日の8日は歓迎パーティを兼ねた開会式で始まった。参加者は事前に登録した人達に加え、地元のハムやゲストも加わって総勢150人程で賑わった。日本からの参加は我々を含めて15名であった。ランパンの市長Dr. Nimit Jivasantikamをメインゲストに迎え、コンベンション会長のHS1YL, Mayureeさんが市長からランパンの鍵を受け取った。会場となったホテル (Menglakor Hotel)の最上階 (6階)には記念局としてHS35SEAを設置し参加者が運用した。私も14MHz SSBで2局のJA局とQSOさせて貰ったが、QSLマネジャーはHS1CKC, Wnitである。



2日目は約50台の小型の馬車に分乗して、ホテルからランパン駅まで行進したが、馬車の後ろにSEANETのパネルをつけた行列は壮観でよいIPRになった。そしてランパン駅をバックに集合写真を撮った。お揃いの黄色いシャツは、国王の誕生が月曜日だったので、月曜日の黄色(火曜日はピンク等曜日毎の色がある)を国王の色として、国王の健康や長生きを願って着ているものである。その後、大型バス3台に乗り換えての観光であったが、警察のパトロールカーが先導してくれるのでほとんどノンストップであった。象の保護区にあるトレーニングセンターで、木材を運んだりする象の芸を見た後、象にバナナを与えたり、希望者は象の背に乗ることも出来た。近くのレストランでタイ料理の昼食を楽しんだが、今年は日本とタイ王国との修好120周年とあってその旨の歓迎幕を見ることが出来た。その後陶器工場を見学、SEANETのロゴ入りのマグに各自が思い思いの色をつけた記念のマグを作った。このランパン地方は陶器で有名な地らしい。続いて広大な露天掘りの炭鉱(Mae Moh Mine)を遠望し、博物館を見学した。この炭鉱の石炭で発電した電力(2400MW)はタイの北部地方の電力をまかなっているほか一部は中部や東北部にも供給されているとのことであった。夜のガラパーティは癌センターの広い庭園で開催された。食事をしながらタイダンスを鑑賞し、恒例の各国別のパフォーマンスが始まった。日本チームはJE3BEQ宮本さんが準備したカラオケで「旅愁」を合唱した。そのあと、主催者側から各種団体に感謝の記念品が贈られたが、去年のSEANETコンベンションを開催した大阪にと私が代表して記念品を受け取った。この街の小型の馬車の模型でガラスケース入りのFBなものである。壊れないように持ち帰るのに苦労したが、いずれクラブ局(JI3ZAG)のシャックに飾らせて頂きたいと思っている。SEANETコンテストの表彰式をする頃には夜も更けて非常に寒くなってきて屋内に移動する人が増えてきた。そのとき主催者側が用意したフライング・ランタンを皆で飛ばして楽しんだ。初めての経験だったがランタンの下に取り付けた固形燃料を燃やすと、熱気球と同じ原理で空高く舞い上がるものである。多くのランタンが空高く上ると、まるで星空のように見えた。



3日目はChae Sorn国立公園に出かけ、滝までのウォーキング、温泉での足湯やマッサージを楽しみ、摂氏70度以上もある温泉では温泉たまごを作ること出来た。タイに温泉がある事を初めて知った。夜は民族衣装を着ての晩餐会ということで、JA1BRK, JR1FBE米村ご夫妻やJA9AG吉井さんは和服姿でバスに乗り込んだが、付いた先はお寺(Wat Phrathat Lampang Luang)の境内で、ランパン州のお祭りが繰り広げられていた。知事さんが太鼓をたたいて開会したお祭りは、お寺の壁面をバックにした傾斜の芝生が舞台となって色んな民族衣装の舞踊を見ることが出来た。会場の周りには多数の屋台が出店し、地方の食べ物や飲み物をサービスしてくれた。夕食はここで色んな食べ物を楽しむ趣向だったが、やはり外国人には衛生上食べられない人が多く、主催者側は急遽中華レストランと交渉、移動するというハプニングがあった。急ごしらえの舞台上でJA9AG吉井さんが日本の舞を披露、抽選会を含めて司会のHS0ZDX, TonyとHS1HSC, Thidaさんが晩餐会を盛り上げ、最後はタイのアマチュア無線連盟(RAST)の会長HS1QVD, Chaiyong氏の挨拶で締めくくった。





最終日は恒例の総会が開かれ来年の開催地コタキナバルを9M6TW, Jamesが紹介。HS1YL, Mayureeさんから、9M6TW, JamesにSEANETのバナーが引き継がれ、開催は2008年11月20日から23日までと発表があった。引き続いて2009年度の開催地をソウルと決めたが、ソウルのHL1KDW, Chaeさんが立候補を表明すると、オーストラリアのダーウインが立候補を取り下げた。Chaeさんは韓国で初めてのSEANETコンベンションを成功させるため、特に日本から多くの人の参加と協力をと訴えた。ソウルは大阪からも近いので、当ラジオクラブのメンバーも大勢で参加したいものである。またプレゼンテーションはE21EIC, ChampがブラジルでのWRTC 2006をスライドで紹介、9M6DXX (G4JVG), Steveが3B7C, St. Brandon DXpeditionの結果をスライドで報告した。また、この席上JE3BEQ宮本さんが持参した故JA3UB三好さんの写真の裏に、9M2KN, Dr. Kenの提案で、XYLの三好京子さんに甲意と激励の意味で参加者にサインを求め、多くの参加者がそれに応じて甲意を表した。



## 大阪国際交流センターラジオクラブ

大阪市-サンフランシスコ市 姉妹都市  
50周年記念局開局

**8N3OSA 8J3SF**

# 大阪国際交流センター・ラジオクラブ J13ZAG

e-mail : [ji3zag@i3zag.net](mailto:ji3zag@i3zag.net)

Rollcall  
14.155MHz 00:00UTC Saturday

Monthly Club Meeting  
18:00jst 2nd Friday  
i-House Osaka